

あぶしん景況レポート

2022年10～12月期



総合企画部

Vol.10 2023.1 発行

当地区の概況

【業種別天気図】

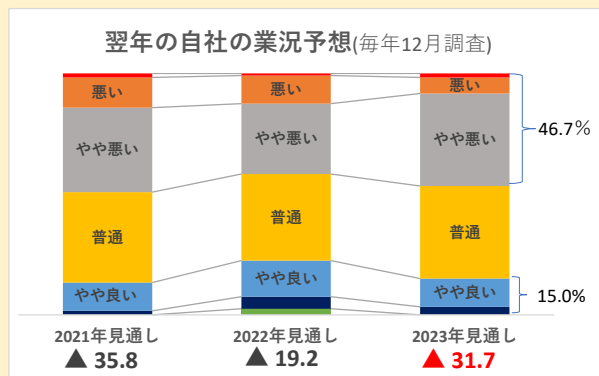
調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2022年 7～9月								▲ 6.7
2022年 10～12月								▲ 18.3
2023年 1～3月 (見通し)								▲ 15.8

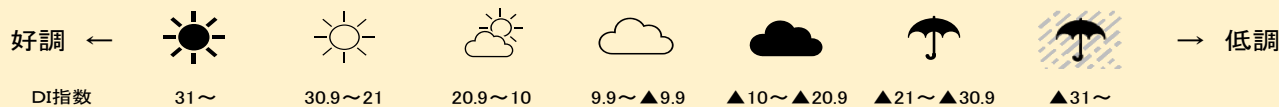
- 2022年10～12月期(今期)の業況判断D.I.は▲18.3と、前期比11.6ポイントの悪化となった。業種別にみると、サービス業のD.Iは2四半期続けて改善し、前期比15.0ポイントの改善となった。小売業は前回の大幅改善から一転、前期比33.3ポイントの大幅悪化となった。
- 2023年1～3月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲15.8と、今期実績比2.5ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 2023年(令和5年)の経営見通し -

- 2023年の自社の業況予想について、良いと回答する割合は15.0%、悪いと回答する割合は46.7%、「良い-悪い」が▲31.7となった。1年前の調査(▲19.2)と比べて12.5ポイントの悪化となり、業況は低調な推移が見込まれる。



【業況判断天気図】



業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ!



携帯・スマートフォンの方はQRコードを!
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん <http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	30.0	45.0	20.0	5.0	5.0
	実績	0.0	30.0	25.0	30.0	15.0	▲ 15.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	25.0	65.0	10.0	0.0	15.0

今期の業況判断 D. I. は、前期(実績)より 20.0 ポイント悪化し▲15.0となった。製造業の D. I は改善と悪化を繰り返しており、売上・受注が確保できても人件費の増加や利益の確保が難しいという声も聞かれた。

○経営課題 (単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 原材料高	60.0%	75.0%
2 売上の停滞・減少	45.0%	25.0%
3 人手不足	30.0%	30.0%
3 人件費の増加	30.0%	15.0%

○重点経営施策 (単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	60.0%	65.0%
2 販路を広げる	50.0%	50.0%
3 人材を確保する	45.0%	25.0%

卸売業

業況判断D. I. 調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	16.7	33.3	44.4	5.6	▲ 33.3
	実績	5.6	5.6	44.4	44.4	0.0	▲ 33.3
来期 (1-3月)	予想	0.0	0.0	61.1	27.8	11.1	▲ 38.9

今期の業況判断 D. I. は、前期(実績)より 11.1 ポイント悪化し▲33.3となった。業況を「普通・やや悪い」と回答する割合が高く、コロナ後の水準のまま推移しており、他業種に比べ大きな変化は見られない。

○経営課題 (単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	50.0%	55.6%
2 利幅の縮小	38.9%	50.0%
2 同業者間の競争の激化	38.9%	38.9%

○重点経営施策 (単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	61.1%	55.6%
2 経費を節減する	50.0%	55.6%
3 情報力を強化する	38.9%	50.0%

小売業

業況判断D. I. 調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	14.3	61.9	19.0	4.8	▲ 9.5
	実績	4.8	4.8	47.6	33.3	9.5	▲ 33.3
来期 (1-3月)	予想	4.8	4.8	42.9	42.9	4.8	▲ 38.1

業況判断 D. I. は、前回の大幅改善から一転し▲33.3となった。食料品販売店などでは、業況を「普通」と回答する割合は高いが、それ以外の調査先で業況を「悪い」と回答する割合が高く、来期 D. I. は▲38.1の見通しとなった。

○経営課題 (単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	52.4%	61.9%
2 仕入先からの値上げ要請	33.3%	33.3%
2 利幅の縮小	33.3%	23.8%

○重点経営施策 (単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	57.1%	47.6%
2 人材を確保する	38.1%	28.6%
3 売れ筋商品を取扱う	19.0%	28.6%
3 新しい事業を始める	19.0%	14.3%

サービス業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	10.0	60.0	30.0	0.0	▲ 20.0
	実績	0.0	30.0	35.0	25.0	10.0	▲ 5.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	25.0	35.0	35.0	5.0	▲ 15.0

業況判断 D. I. は2期連続改善し、過去最高の▲5.0となった。昨年同時期との比較では、調査先の55%で売上が増加したと回答している一方、光熱費や人件費の上昇を不安視する声が多く、収益も増加した先は25%であった。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

	項目	今期	前期
1	材料価格の上昇	55.0%	60.0%
1	売上の停滞・減少	55.0%	45.0%
3	人手不足	45.0%	35.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	65.0%	50.0%
2	宣伝・広告を強化する	45.0%	40.0%
3	経費を節減する	40.0%	40.0%

建設業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	23.8	47.6	28.6	0.0	▲ 4.8
	実績	4.8	14.3	47.6	33.3	0.0	▲ 14.3
来期 (1-3月)	予想	4.8	14.3	47.6	28.6	4.8	▲ 14.3

業況判断 D. I. は、前期(実績)より4.8ポイント悪化し、今期(実績)▲14.3となった。企業の設備投資の動きが鈍く、大幅な受注増が見込めないため、業況は横ばいであるとの声が聞かれた。来期(予想)D. I. も▲14.3となった。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

	項目	今期	前期
1	材料価格の上昇	42.9%	57.1%
1	売上の停滞・減少	42.9%	38.1%
1	人手不足	42.9%	38.1%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	61.9%	57.1%
2	経費を節減する	52.4%	38.1%
3	技術力を高める	47.6%	47.6%

不動産業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	70.0	15.0	0.0	0.0
	実績	0.0	5.0	80.0	15.0	0.0	▲ 10.0
来期 (1-3月)	予想	0.0	5.0	85.0	10.0	0.0	▲ 5.0

業況判断 D. I. は、前期(実績)より15.0ポイント悪化し▲10.0となった。来期(予想)D. I. は▲5.0とほぼ横ばいでの推移を見込んでいる。重点経営施策では「不動産の有効活用を図る」が前回の2倍となった。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

	項目	今期	前期
1	同業者間の競争の激化	40.0%	40.0%
2	利幅の縮小	30.0%	35.0%
2	売上の停滞・減少	30.0%	20.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	30.0%	20.0%
1	不動産の有効活用を図る	30.0%	15.0%
3	情報力を強化する	25.0%	25.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

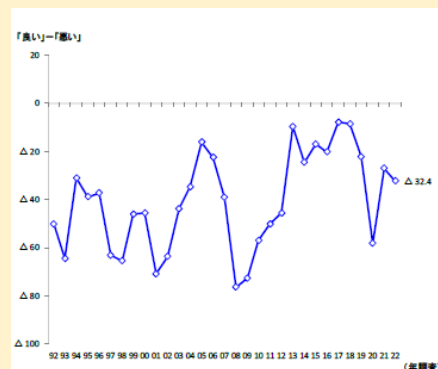
回答社数：13,361社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2022年 7～9月	☂	☁	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 17.8
	2022年 10～12月	☁	☁	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 10.8
	2023年 1～3月 (見通し)	☁	☁	☂	☂	☁	☁	☁	▲ 17.3
東北	2022年 10～12月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 15.8

- 全国の2022年10～12月期（今期）の業況判断D.I.は▲10.8、前期比7.0ポイント改善し、コロナ前の水準(19年10～12月期、▲7.8)近くまで回復した。2023年1～3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲17.3と、今期実績比6.5ポイントの低下を見込んでいる。
- 東北地区の2022年10～12月期（今期）の業況判断D.I.は▲15.8と、前期比7.4ポイント改善した。2023年1～3月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲30.1と、大幅な低下を見込んでいる。

特別調査 - 2023年(令和5年)の経営見通し

- 2023年の自社の業況見通しについては、「良い」と回答した割合が12.4%、「悪い」と回答した割合が44.8%となり、「良い」-「悪い」は▲32.4となった。1年前の調査と比べて5.3ポイントの低下となった。
- 従業員規模別では、従業員4人以下の階層で弱気の見通しが目立った。業種別では、不動産業で強気の見通しとなった。



全国の調査員からのコメント

- 販売価格を引き上げたが、数量の減少には結びつかなかった。利益率を優先した商品販売を進めていく。(酒、コメ、調味料小売 兵庫県)
- 人手不足が深刻であり、終身雇用制度拡大、福利厚生充実、資格取得支援などを行う。(土木舗装工事 静岡県)

【調査要領】

1. 調査時期 2022年12月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。